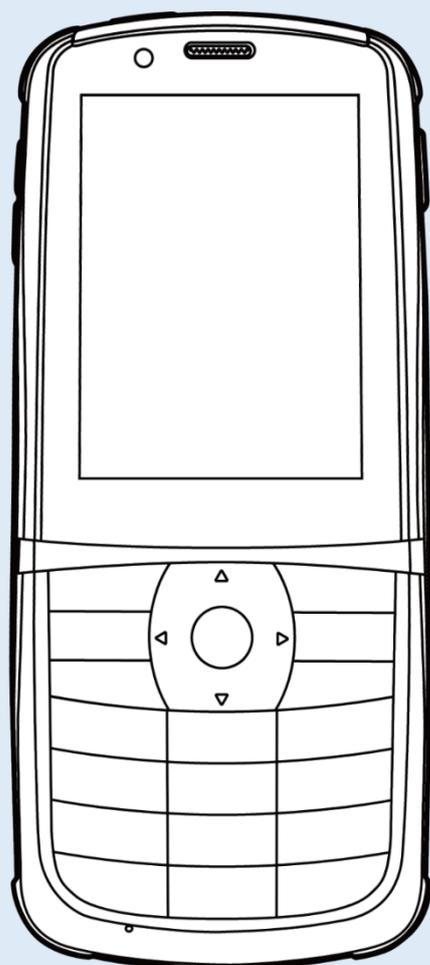


iMESH (IM-550) 取扱説明書

Ver.1.7.18 2023.07.20



はじめに

安全上のご注意	1
各部の名称	7
バッテリーを充電する	9
SIMカードの差し込み方	10
電源を入れる／切る	11
画面説明	12
iMESH を起動する	16
ライセンス認証をする	17

通話

通話を開始する	18
通話する	30
通話履歴を見る	31

チャット

チャット履歴を見る	34
メッセージを送る	37
写真を送る	39
動画を送る	40
写真を撮って送る	41
動画を撮って送る	42

動態

状態を通知／確認する	43
------------	----

その他

各種設定	45
アップデートする	64
困ったときは	67
用語集	69

安全上のご注意



警告 - 死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています -

- 自動車を運転しながら本機を操作しないでください。運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車してから使用してください。
- 航空機内や病院内での設置、運用はしないでください。電子機器や医療機器に影響を与える可能性があります。
- 引火性ガスの発生する場所では設置、運用はしないでください。発火事故の原因になる可能性があります。
- 心臓ペースメーカー装着者は使用しないでください。ペースメーカーに影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。本機からの電波で機器に影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 前方視界を妨げる場所や運転操作の邪魔になる場所に設置、運用はしないでください。怪我や事故、故障の原因となります。
- 運転中は車外の音が聞こえるよう、スピーカーの音量に注意してください。怪我や事故の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。怪我や事故、故障の原因となります。



注意 - 傷害や物的損害を負うおそれがある内容を示しています -

- 直射日光の当たる場所に設置、運用はしないでください。樹脂の変形や変色、故障の原因となります。
- 強い衝撃を加えたり投げつけたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の装置以外と接続しないでください。故障の原因となります。
- 磁気カードなどに本機を近づけないでください。キャッシュカードなどの内容が消去される場合があります。
- 清掃にシンナーやアルコールなどを使用しないでください。樹脂の変形や変色、故障の原因となります。

安全上のご注意

正しくご使用いただくために

■本製品は携帯電話通信網を使って通信を行っております。本製品の保証範囲は携帯電話通信網を含めて保証するものではありません。本システムの特性を十分に理解し、使用者の責任に於いてその利益を活用するようにしてください。

■付属品は全てモバイルクリエイイト株式会社が販売しているものを使用してください。市販品や自作物をご利用にならないでください。製品保証の対象外となります。

■運搬時は投げたり落としたりしないでください。機器が壊れます。またネジを外し分解しないでください。性能劣化や故障の原因となり製品保証の対象外となります。

■本製品は、特別な品質／信頼性が要求され、その故障や誤動作が生命維持や財産に著しく関わるような医療機器／防災／防犯セキュリティー機器等としては使用する場合は、当社にご相談ください。

■直射日光が当たる箇所には設置しないでください。性能低下や故障の原因となります。

* 推奨使用環境温度：0℃～+45℃

■汚れたまま長期間放置すると塗装が剥がれる場合があります。定期的に乾いた柔らかい布で乾拭き清掃を行ってください。

■通話する際は、本機から5cm程離してご利用ください。距離が近いと相手に届く音声が割れたり歪んだりする場合があります。

■ポケット通信サービスエリア内であっても、トンネル内や車庫内など電波の弱い場所や、通信回線の状態(ネットワーク回線工事や混線)などの影響で、通話中に音声途切れる場合があります。

■本製品のファームウェアは、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。また改変改作を行うことはできません。

■本製品に関して記載される著作権、特許、実用新案、商標等の知的財産権の表示を削除または改変することはできません。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計されております。日本国外での使用は出来ません。

■本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方・自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

安全上のご注意

防水・防塵性能での事項

 **注意** - 傷害や物的損害を負うおそれがある内容を示しています -

■本製品はSIM/microSDスロットカバーをしっかりと取り付けた状態でIP6X(旧JIS保護等級5)、IPX8(旧JIS保護等級6)の防水・防塵性能相当を有しております。

■実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合は、保証の対象外となります。

■防水・防塵性能とも永続的なものではなく、通常の使用によって次第に低下することがあります。

■本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐敗が発生し、発熱による火災や故障の原因となります。

■本製品は防水性能を有する機種ですが、SIMカバーの脱着により水などの液体が入った場合には、ご利用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

■本製品の防水・防塵機能を発揮するために、SIMカバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。

安全上のご注意

無線製品としての事項

 **警告** - 死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています -

■お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一改造などにより本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。また、日本国以外ではご使用になれません。

■本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。その証として、「技適マーク 」が本体内で確認できるようになっています。
確認方法:[設定]→[端末情報]→[規定ラベル]

■この端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

■この指針は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kgの指針値を超えないこととしています。

この指針値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この無線機器の側頭部におけるSARの最大値は0.679W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.754W/kgです。個々の製品によって多少の差異が生じることがありますが、いずれも許容値を満足しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省電波利用ホームページ <http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 社団法人電波産業会電磁環境委員会 <http://www.arib-emf.org/index02.html>

安全上のご注意

バッテリー性能での事項

 **警告** - 死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています -

■本体を火の中に投入したり、加熱したりしないでください。内蔵バッテリーの絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

■本体を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所(80℃以上)で使用したり、放置したりしないでください。熱により絶縁物が損傷した場合、内蔵バッテリーが内部ショートし、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

■火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、内蔵バッテリーで異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

■指定以外の充電条件(指定以上の高い温度、指定以上の高い電圧・大きな電流、改造した充電クレイドルなど)で充電しますと、内蔵バッテリーが過度に充電されます。更に異常な電流で充電され、バッテリー内部で異常な化学反応が起き、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

■釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。内蔵バッテリーが破裂、変形され内部でショート状態になり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

■強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。内蔵バッテリーを漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となります。また、内蔵バッテリーに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、内蔵バッテリーで異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

■充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。本体を発熱、発煙、破裂、発火させる原因になるおそれがあります。

■本体の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱をしたり、変色、変形その他今までと異なることに気がついたときには機器あるいは充電クレイドルより取り出し、使用しないでください。そのまま使用すると、本体が発熱、発煙、破裂、発火する原因になる恐れがあります。

安全上のご注意

バッテリー性能での事項

 **注意** - 傷害や物的損害を負うおそれがある内容を示しています -

■直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。漏液、発熱、発煙の原因になるおそれがあります。また、内蔵バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。

■本体の充電温度範囲は-20℃～45℃です。この温度範囲以外での充電は発熱、故障させる原因になります。また、内蔵バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。

■ご使用前に必ず取扱説明書、または注意書きをよくお読みください。

各部の名称

はじめに

各部の名称



各部の名称



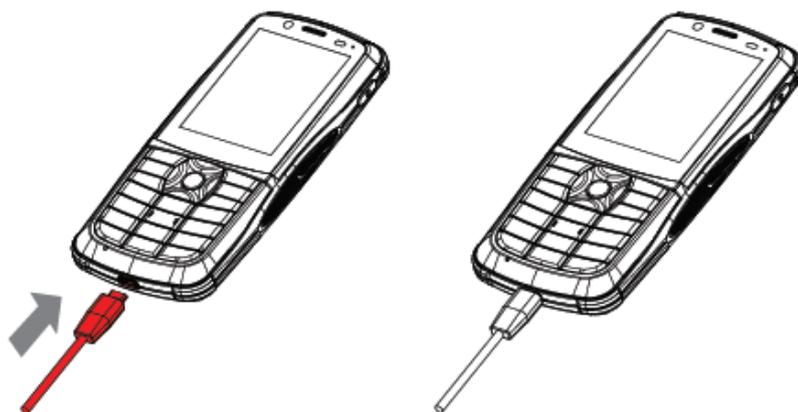
はじめに

各部の名称

バッテリーを充電する

- 1 本体下面にある、充電 / USB ポートに、付属のUSBケーブルを接続します。

- 2 USBケーブルのもう一方の終端を付属のACアダプターに接続した後、ACアダプターをコンセントに差ししてください。



- ❗ 付属のACアダプターとUSBケーブルを使用してください。互換性のない充電器を使用したり、改造したりすると、端末の故障を招く恐れがあります。
- USBケーブルが正確に接続されているか確認してください。
- 満充電のまま充電し続けると、バッテリー性能の劣化を早める場合があります。バッテリー保護モードを設定すると、バッテリーの性能劣化を防ぐことができます。
[設定方法] 設定画面→端末設定→電池設定→バッテリー保護モードを有効化
※ 設定画面の開き方は、「各種設定(設定画面の開き方)」をご参照ください。
- 長時間使用しない場合は、USBケーブルや充電クレイドルから外してください。

❗ バッテリー保護モードとは

バッテリー残量が80%に到達すると充電を停止し、70%未満まで放電すると充電を再開します。USBケーブルを抜き差しした場合は、バッテリー保護モード動作中であっても充電が再開します。

SIMカードの差し込み方

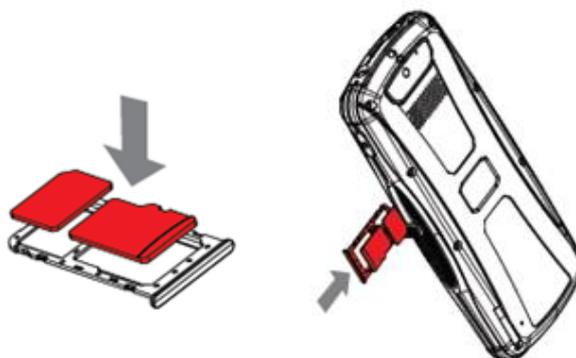
- 1 本体右側面にある SIM/microSD スロットカバーを開きます。



- 2 SIM/microSD トレイ下部の穴にSIM リムーバーを差し込むと、SIM/microSD トレイが押し出されます。



- 3 SIM/microSD トレイにSIM カードをセットし、SIM/microSD スロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



! 防水性能が維持されるよう、SIM/microSD スロットカバーがしっかりと密閉されているか確認してください。

電源を入れる／切る

本体の電源を入れる

画面が表示されるまで電源キーを長押しします。

本体の電源を切る

確認画面が表示されるまで電源キーを長押しします。
「電源を切る」をタップすると、本体の電源が切れます。



確認画面

本体を再起動する

確認画面が表示されるまで電源キーを長押しします。
「再起動」→「OK」をタップすると、本体が再起動します。

！ 自動再起動について

音声サービスメンテナンスWebで自動再起動が設定されている場合は、設定時間になるとカウントダウンを表示後、自動的に端末が再起動されます。
カウントダウン表示中は再起動をキャンセルすることが出来ます。



画面を消す

画面がついている状態で、電源キーを短く押ししてください。

画面をつける

画面が消えている状態で、ボリュームキーを除く任意のキーを短く押ししてください。

画面説明（ホーム画面）



ステータスバー

左側に各種通知アイコン、右側に端末の各種ステータスアイコンを表示します。
下にスワイプすると通知画面が表示されます。

Google検索ウィジェット

テキストまたは音声入力でクイック検索ができます。

ショートカット

アイコンをタップすると、該当アプリを実行することができます。

拡張ボタン

拡張ボタンをタップすると、メインメニュー画面が表示されます。

お気に入り

よく使うアプリを5つまで登録することができます。
上にスワイプすると、メインメニュー画面が表示されます。



無線専用モードでご利用になる場合は、ホーム画面は表示されません。

画面説明（メインメニュー画面）



メインメニュー画面では、アプリ全体を確認することができ、任意のアプリをタップして実行することが出来ます。

メインメニュー画面は、以下のいずれかの操作で遷移できます。

- ・ ホーム画面でメニューキーを押す
- ・ 拡張ボタンをタップ
- ・ お気に入りを上にスワイプ

ステータスアイコン

アイコン	説明
	Wi-Fiアクティブおよび信号の強さ／非アクティブ
	ネットワークアクティブおよび信号の強さ／非アクティブ
	Bluetoothアクティブ／非アクティブ
	機内モードアクティブ／非アクティブ
	バッテリー容量表示
	バッテリー充電中



無線専用モードでご利用になる場合は、メインメニュー画面は表示されません。
Wi-Fi及びBluetooth設定はiMESH設定メニューの端末設定より行ってください。

画面説明（通知画面）



展開ボタン

展開ボタンをタップすると、クイック設定画面が表示されます。

設定ボタン

端末の設定画面を表示します。

クイック設定一覧

アイコンをタップすると、該当する設定を変更できます。

通知画面

通知が表示されます。タップすると、通知の詳細を表示できます。また、下にスワイプすると、クイック設定画面が表示されます。

通知消去ボタン

表示されている通知を消去します。



無線専用モードでご利用になる場合は、通知画面は表示されません。

画面説明（クイック設定画面）

はじめに



縮小ボタン

縮小ボタンをタップすると、通知画面を表示します。

画面明るさ調整バー

画面の明度を調整できます。

クイック設定タイル一覧

アイコンをタップすると、該当する設定を変更できます。

！ 無線専用モードでご利用になる場合は、クイック設定画面は表示されません。

iMESH を起動する

端末を起動すると、iMESHの起動画面が表示され、その後、トップ画面が表示されます。

初回起動時は、ライセンス認証画面が表示されます。
ライセンス認証については、「ライセンス認証をする」をご参照ください。



起動画面



トップ画面

トップ画面の見かた



iMESHを終了している状態から、起動する場合は、
メインメニュー画面にある、iMESH アイコンをタップします。



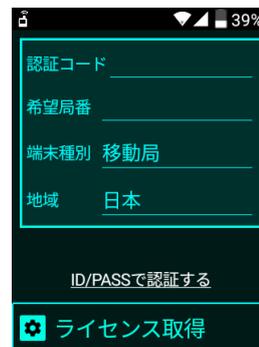
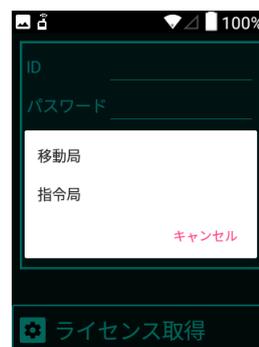
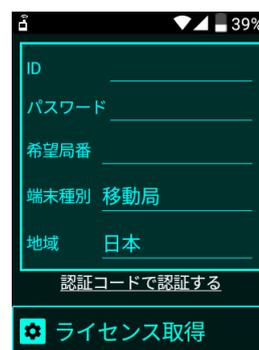
! 無線専用モードでご利用になる場合は、iMESHを終了させることはできません。

ライセンス認証をする

初回起動時は、ライセンス認証画面が表示されます。

ご契約時に発行された、アカウントID、パスワードおよび、
利用する局番、端末種別、利用地域を入力し、
「ライセンス取得ボタン」をタップします。

認証が成功すると、トップ画面が表示されます。



- ・ 同一顧客内で、同じ局番を重複して登録することはできません。
- ・ 異なる地域を選択した端末間での利用はできません。



認証コードで認証する

事前に認証コードが発行されている場合は、
「認証コードで認証する」を選択します。

認証コードおよび、端末種別、利用地域を入力することで
ライセンス認証を行うことができます。

通話を開始する（個別通話）

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈個別通話〉を選択します。



- 2 〈個別通話〉を選択したら、数字キーで通話したい相手の局番を入力します。

入力を誤った場合、戻るキーで1つ前の状態に戻すことができます。



- 3 局番を入力したら、PTTキーまたは通話キーを押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話

通話を開始する（個別通話）

通話を開始する（個別通話）

また、方向キー上下を操作することで、登録されている局番を選択し、発信することができます。

局番を選択した後は、PTTキーまたは通話ボタンを押すと、通話が開始されます。



通話

または、個別局番リストを表示して、通話したい局番を選択することも可能です。

メニューキーを押して、メニュー下部の「上下キーでリスト表示」にチェックをいれることで使用可能になります。

※初期設定ではチェックは入っていません。



方向キーの上下を押すことで個別局番リストが表示されます。

リストから局番を選択し、決定キーを押します。

その後、PTTキーまたは通話キーを押すと通話が開始されます。



通話を開始する（IP電話 - 発信）

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈電話〉を選択します。

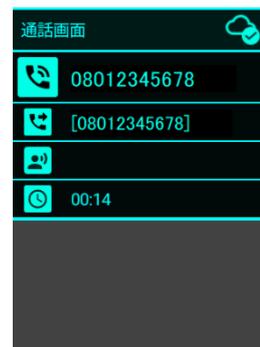


- 2 〈電話〉を選択したら、数字キーで通話したい
相手の電話番号を入力します。

入力を誤った場合、戻るキーで1つ前の状態に戻すことができます。



- 3 局番を入力したら、PTTキーまたは通話ボタンを押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話

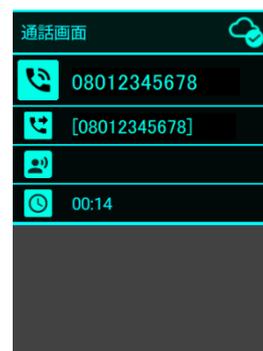
通話を開始する（IP電話 - 発信）

通話を開始する（IP電話 - 着信）

- 1 IP電話を着信すると、着信画面が表示されます。相手の電話番号を確認し、通話する場合は「応答」を、通話しない場合は「拒否」をタップします。



「応答」をタップした場合、通話が開始されます。



通話を開始する（グループ通話）

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈グループ〉を選択します。



- 2 〈グループ〉を選択したら、数字キーで通話したいグループの
グループ番号を入力します。

入力を誤った場合、戻るキーで1つ前の状態に戻すことができます。



- 3 グループ番号を入力したら、PTTキーまたは通話キーを
押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話

通話を開始する（グループ通話）

通話を開始する（グループ通話）

方向キー上下を操作することで、登録されているグループを選択し、発信することができます。

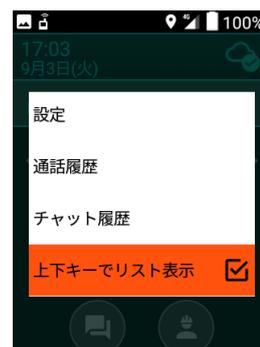
通話したいグループを選択したら、PTTキーまたは通話キーを押すことで、通話を開始できます。



または、グループリストを表示して、通話したいグループを選択することも可能です。

メニューキーを押して、メニュー下部の「上下キーでリスト表示」をタップして、チェックをいれることで使用可能になります。

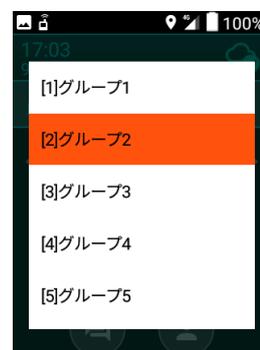
※初期設定ではチェックは入っていません。



方向キーの上下を押すことで、グループリストを表示できます。

リストからグループをタップまたは、選択し決定キーを押します。

その後、PTTキーまたは通話キーを押すと通話が開始されます。



通話を開始する (チャンネル通話)

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈CH〉を選択します。



- 2 〈CH〉を選択したら、数字キーで通話したいチャンネルの
チャンネル番号を入力します。

入力を誤った場合、戻るキーで1つ前の状態に戻すことができます。



- 3 チャンネル番号を入力したら、PTTキーまたは通話キーを
押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話

通話を開始する(チャンネル通話)

通話を開始する (マルチチャンネル通話)

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈グループ〉を選択します。



- 2 〈グループ〉を選択したら、数字キーで
「通話したいグループ番号 # チャンネル番号」を入力します。

入力を誤った場合、戻るキーで1つ前の状態に戻すことができます。

例:グループ1の10チャンネルと通話したい場合
「1#10」と入力



- 3 番号を入力したら、PTTキーまたは通話キーを押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話を開始する（一斉通話）

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈一斉通話〉を選択します。



- 2 PTTキーまたは通話キーを押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話

通話を開始する（一斉通話）

通話を開始する（指令局通話）

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈 指令局通話 〉を選択します。



- 2 方向キー上下を押して
指令局通話モードを切り替えます。



- 3 PTTキーまたは通話キーを押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話を開始する（周辺通話）

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈 周辺通話 〉を選択します。



- 2 PTTキーまたは通話キーを押します。
接続が完了すると通話が開始されます。



通話

通話を開始する（周辺通話）

通話を開始する (強制割り込み通話)

- 1 強制通話の開始方法はすべての通話モードで共通です。
トップ画面で強制割り込み通話を行いたい通話モードを選択します。



- 2 強制通話が有効化されている通話モードの場合、決定キーを押すと、強制割り込み通話が開始されます。
接続が完了すると通話が開始されます。

強制通話中は通話中画面および通話履歴画面の通話モードアイコンが赤色で表示されます。



! 強制割り込み通話モードとは

通話中の無線局を強制的に終話させ、通話に参加させます。
強制割り込み通話は機能が有効化されている通話モードでのみ利用が可能です。

強制通話の発信手順は全通話モードで共通となります。
IP電話機能は強制割り込み通話をご利用いただけません。



通話する

- 1 通話画面でPTTキーを押すと発話が可能になります。PTTキーを押している間だけ発話可能となり、PTTキーを放すと発話不能となります。

発話可能な状態になると通話画面が青色に変わります。

また、通話相手が発話中の場合は、PTTキーを押しても発話できません。



通話画面の見かた



通話切断のしかた

接続されている全員が発話をせず、一定時間が経過すると、自動的に通話が切断されます。

また、戻るキーを押すことで、任意のタイミングで切断することも可能です。

※iMESH設定の機能制限で切断操作が制限されている場合、戻るキーによる任意のタイミングで通話を終了することは出来ません。

通話相手の表示について

1対1の通話(個別、モニタリング)の場合は通話相手(名称)が表示されます。相手が特定できない通話(グループ、一斉、指令局、周辺)の着信時は発信者(名称)を表示します。

通話履歴を見る

- 1 トップ画面でメニューキーを押して、「通話履歴」を選択するか、画面上部の通知アイコンをタップします。



履歴画面が表示されます。

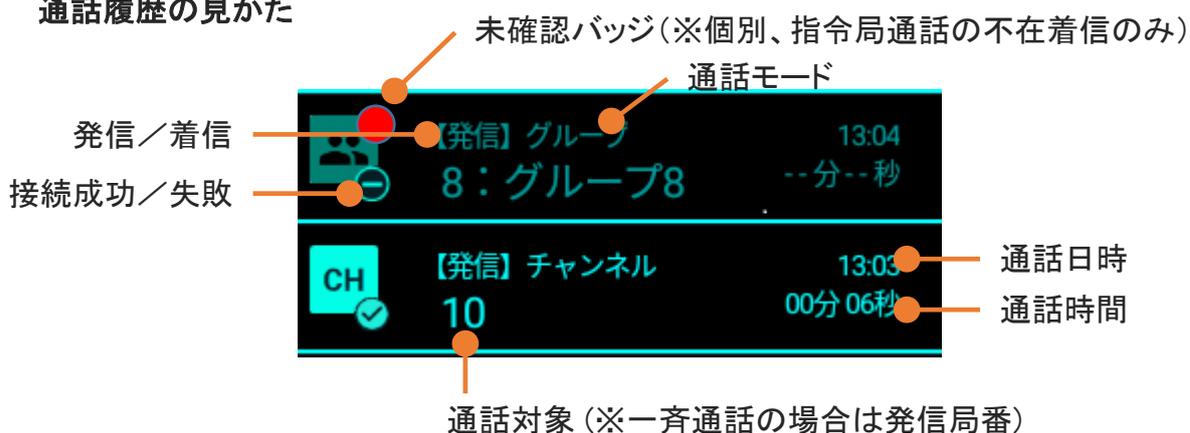
方向キー上下で履歴を選択し、PTTキーまたは通話キーを押すことで、その通話モード・局番に発信することができます。

通話履歴をタップまたは決定キーを押すことで通話履歴の再生画面が表示されます。

不在着信の未確認バッチは一度履歴画面を開くと、次回から表示されなくなります。



通話履歴の見かた



接続成功/失敗の見かた



通話履歴を再生する

- 1 通話履歴をタップまたは決定キーを押すことで、その通話履歴の再生画面が表示されます。

通話履歴を選択しながら、PTTキーまたは通話キーを押すことで、その通話モード・局番に発信することができます



通話履歴の再生のしかた



- ・再生／一時停止ボタン
再生ボタンを押すことで通話録音データの再生を開始します。
再生中は「一時停止」ボタンに変わります。
一時停止ボタンを押すことで、現在の位置で再生を止めることができます
- ・停止ボタン
停止ボタンを押すことで通話の再生を停止し、再生位置を開始位置に戻します。
- ・再生位置調整バー
再生中にバーをスライドすることで任意の位置から再生を開始することができます。

モニタリングを開始する

- 1 トップ画面で方向キー左右を押して、
〈モニタリング〉を選択します。



- 2 〈モニタリング〉を選択したら、数字キーでモニタリングしたい相手の局番を入力します。

入力を誤った場合、戻るキーで1つ前の状態に戻すことができます。



- 3 局番を入力したら、PTTキーまたは通話キーを押します。
接続が完了するとモニタリングが開始されます。

! モニタリングとは

接続先の端末に通知することなく端末の周囲の音声を再生します。
モニタリング機能の発信及び着信機能が有効になっている場合にのみ
利用が可能です。



チャット履歴を見る

- 1 メニューキーを押して「チャット履歴」を選択します。



- 2 チャット履歴が表示されるので、表示したいトークルームをタップします。



タップすると、選択したトークルームが表示されます。



チャット履歴を見る

トークルーム画面の見かた

トークルーム名
相手局番またはグループ名を表示します

戻るボタン
トークルーム一覧に戻ります

メッセージエリア
上下にスワイプし、過去のメッセージを確認できます

その他送信アイコン
写真や動画を送信することができます

入力エリア
送信したいメッセージを入力します

送信ボタン
入力エリアに表示されている内容を送信します



メッセージエリアの見かた

発信者
送信の場合「自分」、受信の場合「相手の局番または名称」が表示されます

メッセージ
コメント、写真、動画が表示されます

発信日時

既読カウント
送信メッセージの場合に表示されます



チャット履歴を見る

！ 受信メッセージの保持期間

メッセージを受信してから最低7日間は端末内にデータを保持します。
※ 7日以上経過したメッセージは削除されます。

！ 未受信メッセージ

ネットワークがオフラインなどで受信できなかったメッセージは、1チャンネルあたり、最大100件、かつ120時間サーバー内に保存され、次回オンライン時に受信することができます。
※ 120時間以上経過していた場合、メッセージは受信できません。

！ 受信メッセージの削除

メッセージエリアの名前の左に表示されている人型のアイコンを長押しすることでメッセージの取り消し及び削除を行うことができます。

自分が送信したメッセージを取り消すことで受信者のチャット履歴から該当のメッセージが削除されます。

受信したメッセージを削除することで端末のチャット履歴よりメッセージが削除されます。送信者の履歴からは削除されません。

取り消し、削除を行ったメッセージを再度表示させることは出来ません。

メッセージを送る

- 1 チャット機能は右図のチャットアイコンが存在する通話モードでご利用いただけます。

チャット機能を利用したい相手局番またはグループ番号を入力し、チャットアイコンをタップします。

(モバロケチャット機能をご利用の場合)
通話モードを「モバロケユーザー」に切り替えます。
チャット機能を利用したいモバロケチャットユーザを選択し、チャットアイコンをタップします



- 2 チャットアイコンをタップすると、入力した局番またはグループ番号とのトークルームが表示されます



- 3 トークルーム画面にある、入力エリアをタップします。

メッセージを投稿する

入力エリア



メッセージを送る

- 4 キーボードが表示されたら、投稿したいメッセージを入力し、「送信ボタン」をタップします。

入力エリアにメッセージが入力されていないときは送信することができません。



送信が完了するとメッセージが表示されます。



! 送信できるメッセージの文字数は、最大1000文字です。

! モバロケチャットユーザへのメッセージ送信

送信したモバロケユーザがモバロケ画面を開いている場合は、メッセージが通知されます。送信したメッセージはモバロケ画面のメッセージ履歴に表示されます。

モバロケWebのマスタ設定で画像プロットの設定を登録している場合、送信ボタン押下時に設定の選択画面が表示されます。設定を選択することでモバロケ画面上に表示される画像のアイコンを切り替えることができます。

※この画面はメッセージの送信先がモバロケユーザまたはグループチャットの場合、かつ画像、動画のファイルを添付した場合のみ表示されます。



写真を送る

- 1 トークルーム画面にある、写真アイコンをタップします。



- 2 写真選択画面が表示されたら、送りたい写真が入っているフォルダをタップします。



- 3 フォルダの中から送りたい写真を選び、タップします。



アップロードが完了すると写真が表示されます。

! 送信できる写真や動画のファイルサイズは、最大10MBです。

! モバロケユーザに送信した写真はモバロケ地図上にプロットされます。



動画を送る

- 1 トークルーム画面にある、動画アイコンをタップします。



- 2 動画選択画面が表示されたら、送りたい写真が入っているフォルダをタップします。



- 3 フォルダの中から送りたい動画を選び、タップします。



アップロードが完了すると動画が表示されます。



送信できる写真や動画のファイルサイズは、最大10MBです。
※ 端末の設定(各種設定/チャット設定参照)、またはiMESH設定管理の端末詳細設定のチャット設定で、録画時間優先が有効となっている場合は、1分程度までの動画を送信出来ます。

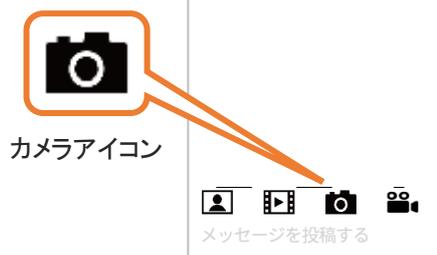


モバロケユーザに送信した動画はモバロケ地図上にプロットされます。



写真を撮って送る

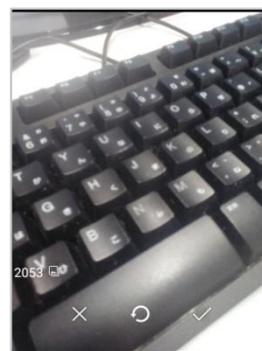
- 1 トークルーム画面にある、カメラアイコンをタップします。



- 2 カメラが起動するので、送信するための写真を撮影します。



- 3 決定アイコンをタップし、撮影した写真を送信します。



アップロードが完了すると写真が表示されます。

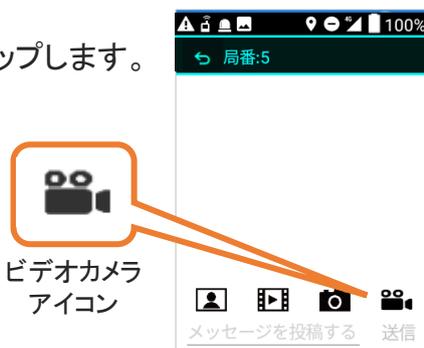
! 送信できる写真や動画のファイルサイズは、最大10MBです。

! モバロケユーザに送信した写真はモバロケ地図上にプロットされます。



動画を撮って送る

- 1 トークルーム画面にある、ビデオカメラアイコンをタップします。



- 2 カメラが起動するので、送信するための動画を撮影します。



- 3 決定アイコンをタップし、撮影した動画を送信します。



取消



決定



アップロードが完了すると動画が表示されます。



送信できる写真や動画のファイルサイズは、最大10MBです。
※ 端末の設定(各種設定/チャット設定参照)、またはiMESH設定管理の端末詳細設定のチャット設定で、録画時間優先が有効となっている場合は、1分程度までの動画を送信出来ます。



モバロケユーザに送信した動画はモバロケ地図上にプロットされます。



状態を通知／確認する

- 1 トップ画面にある、状態通知アイコンをタップします



- 2 状態通知画面が表示されたら、通知したい状態ボタンをタップします。



状態の通知が完了すると、選択した状態にチェックが入ります。

また、現在の状態ボタンを再度タップすると、状態を解除することができます。



❗ 「状態通知」は、モバロケサービスを利用しているお客様にのみ表示されます。

❗ 位置データの送信間隔は10秒周期です。

緊急状態を通知する／解除する

- 1 端末の上部にあるSOSキーを押します。
※しっかりと奥まで押してください。

SOSキー



設定された通知先
(モバロケ、チャットメッセージ)に対して、
緊急状態が通知されます。

SOS設定の値に応じて、
トップ画面に SOS通知アイコンが表示され、
警報アラーム音が鳴ります。



- 2 緊急状態を解除するときは
端末の上部にあるSOSキーを、再度押すか
もしくは、SOS通知アイコンをタップします。

緊急状態が解除されます。



モバロケサービスからの緊急状態起動

モバロケより遠隔操作で端末の緊急状態をオンにすることが出来ます。
※ 遠隔起動に対応していないアプリの場合、モバロケメッセージとして
「SOS起動要求」を受信します。



アラーム音は、最大で5分間鳴ると、自動的にストップします。
その場合も緊急状態は解除されず、手動で解除するまで緊急状態通知は続きます。

緊急状態を通知する／解除する

動
態

各種設定（設定画面の開き方）

- 1 トップ画面にてメニューキーを押して、「設定」を選択し、決定キーを押すことで設定画面を開くことができます。



設定画面が表示されます。



各種設定（所属グループ）

- 1 設定画面にある、「所属グループ」をタップします。



- 2 所属グループ設定画面が表示されたら、所属したいグループのチェックボックスにチェックして、「登録」をタップします。

所属グループは複数選択が可能です。
チェックを外したグループは所属から外れます。



登録が完了すると、所属グループが反映されます。

メイングループの設定がされていない場合、メイングループ設定画面が表示されます。

メイングループ設定については、「各種設定（メイングループ）」をご参照ください。

各種設定（メイングループ）

- 1 設定画面にある、「メイングループ」をタップします。



- 2 メイングループ設定画面が表示されたら、所属グループのリストから、メイングループに設定したいグループにチェックし「登録」をタップします。



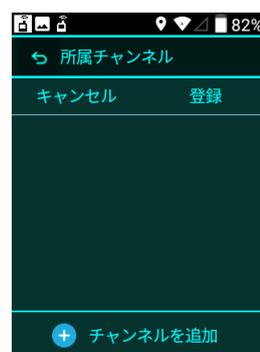
登録が完了すると、メイングループが反映されます。

各種設定（所属チャンネル）

- 1 設定画面にある、「所属チャンネル」をタップします。



- 2 所属チャンネル画面が表示されたら、「チャンネルを追加」をタップします。



- 3 チャンネル追加画面が表示されたら、チャンネル番号を入力して「OK」をタップします。

入力可能なチャンネル番号は、1～999です。



- 4 複数のチャンネルに所属したい場合は、「チャンネルを追加」を再度タップして追加します。

所属を解除したい場合は、「削除アイコン」をタップしてください。

削除アイコン



所属チャンネルの設定が完了したら「登録」をタップします。登録が完了すると、所属チャンネルが反映されます。



各種設定（モバロケ設定）

- 1 設定画面にある、「モバロケ設定」をタップします。

※iMESH設定管理の機能制限で「モバロケ設定」機能の利用が許可されている場合のみ表示されます。



- 2 モバロケ設定画面が表示されたら、モバロケへの位置情報送信の設定をします。



- 3 モバロケ設定を設定したら「戻る」をタップします。
モバロケ設定が反映されます。

各種設定（チャット設定）

- 1 設定画面にある、「チャット設定」をタップします。

※iMESH設定管理の機能制限で「チャット設定」機能の利用が許可されている場合のみ表示されます。



- 2 チャット設定画面が表示されたら、録画時間優先の設定をします。



- 3 チャット設定を設定したら「戻る」をタップします。
チャット設定が反映されます。

各種設定（発信設定）

- 1 設定画面にある、「発信設定」をタップします。



- 2 発信設定画面が表示されたら、PTTプレス時に発信する通話モードを選択します。

※各通話画面にてPTTプレスした場合は、表示中の通話画面の通話モードにて発信されます。

「固定」を選択した場合は、固定通話モードの選択画面が表示されますので、通話モードを選択して「選択」をタップします。



発信設定の通話モードを設定したら「戻る」キーを押します。



メニューキーを押して、メニュー下部の「発信設定の通話に自動切替」にチェックを外すことで通話終了時以外で自動的に通話モードが切り替わらないようにすることができます。

※初期設定ではチェックが入っています。



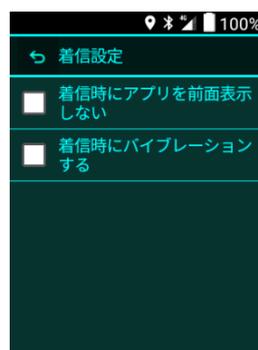
各種設定（着信設定）

1 設定画面にある、「着信設定」をタップします。

※無線専用モードを利用中の場合、「着信設定」メニューは表示されません



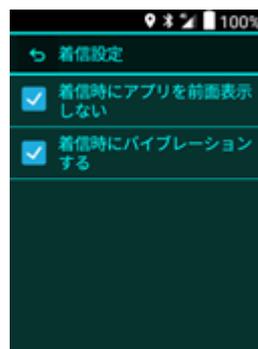
2 着信設定画面が表示されたら、着信があった場合にiMESHアプリを前面に表示するかを選択します。



「着信時にアプリを前面に表示しない」を選択した場合は、iMESH以外のアプリを操作中に無線の着信があった場合通話音声は流れますが、画面操作は継続して行うことができます。

※プレス操作をすることでiMESHが前面に表示されます。

「着信時にバイブレーションをする」の選択を外した場合は、無線の着信があった場合にバイブレーションしてお知らせをしなくすることができます。



3 着信設定を設定したら「戻る」をタップします。登録が完了すると、着信設定が反映されます。

各種設定（不在着信設定）

- 1 設定画面にある、「不在着信設定」をタップします。



- 2 不在着信設定画面が表示されたら、不在着信をお知らせする方法を選択します。

※通知時間内であっても端末のキー操作を行った時点で通知音及びバイブレーションは停止します。



！ 不在着信通知とは

個別通話及び指令局通話を着信した際に通話を受けることが出来なかった場合、トップ画面にアイコン表示およびサウンド、バイブレーションで着信があったことをお知らせします。



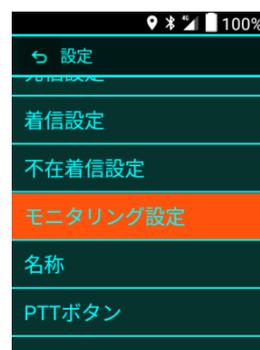
「PTTプレスしたときに不在着信の通話履歴を開く」のチェックを有効にすると、トップ画面に不在着信通知アイコンが表示されているときにPTTをプレスすることで、通話履歴画面に遷移するようになります。PTTを押し続けることで着信元の通話先に折り返しの発信をすることが出来ます。

- 3 不在着信設定の通話モードを設定したら「登録」をタップします。登録が完了すると、不在着信設定が反映されます。



各種設定（モニタリング設定）

- 1 設定画面にある、「モニタリング設定」をタップします。



- 2 モニタリング設定画面が表示されたら、モニタリング発信する方法を選択します。

※モニタリングモードで「音声+PTT」を選択すると、モニタリング中にPTTボタンを押下して発話することが可能になります。

※モニター時間で設定した時間経過後に自動的にモニタリングが切断されます



- 4 モニタリング設定を設定したら「登録」をタップします。登録が完了すると、モニタリング設定が反映されます。



「モニタリング設定」は、モニタリングの発信が許可されている端末にのみ表示されます。

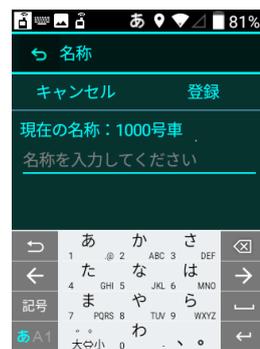
各種設定（名称の確認と変更）

- 1 設定画面にある、「名称」をタップします。



- 2 名称設定画面が表示されます。
この画面で、現在の名称を確認することができます。

名称を変更する場合は、新しい名称を入力して「登録」をタップします。



登録が完了すると、名称が反映されます。

各種設定（PTTボタン設定）

1 設定画面にある、「PTTボタン」をタップします。



2 PTTボタン設定画面が表示されます。

接続するBluetooth機器の仕様に応じたPTTボタンの動作設定を行うことができます。



■PTTボタンの動作モードについて

- ・専用PTTヘッドセット
IM-550専用オプションマイクを利用するとき
- ・PTTヘッドセット
zello等(※)のアプリに対応した有線PTTマイクを利用するとき
- ・ヘッドセット
スマートフォン付属などマイクボタン付きのイヤホンを
トグルで利用するとき

■チャタリングキャンセルについて

本体PTTボタン及びPTTハンドマイクをご利用中に意図しないキー操作が発生する場合に設定してください。強め(長め)にPTTボタンをプレスすることで発信されるようになります。通話中はPTTボタンを離してから発話状態が解除されるまでに設定時間分の遅延が行われるようになります。

! IM550専用車載クレイドル用ハンドマイクをご利用になる場合は動作モードに「PTTヘッドセット」を選択してください。

SPP(シリアルポートプロトコル)に対応したBluetooth機器を利用する場合は、端末とペアリングを行った状態(※)で次の3, 4の手順でアプリに機器を登録してください。

! Bluetooth機器とのペアリングは設定メニューの端末設定より行ってください。

各種設定（PTTボタン設定）

- 3 PTTボタン設定画面にある「PTTボタンを追加」をタップします。



- 4 PTTボタン登録画面が表示されます。

画面に表示されるメッセージに従ってBluetooth機器のPTTボタンの登録を行ってください。



PTTボタン設定一覧に登録したBluetooth機器が追加されます。機器毎にPTTボタンの動作設定を行うことができます。



各種設定（オーディオ設定）

1 設定画面にある、「オーディオ」をタップします。



2 オーディオ設定画面が表示されたら、各ボリュームレベルの設定をします。

■再生レベル

本体スピーカー、イヤホンの受信通話音量
大きくすることで再生する音声の音量が大きくなります。

■録音レベル

本体マイク利用時の送信通話音量
大きくすることで通話相手に届く音声音量が大きくなります。

■イヤホン録音レベル

有線マイク、bluetoothマイク利用時の送信通話音量
大きくすることで通話相手に届く音声音量が大きくなります。

■IP電話録音レベル

IP電話時の本体マイク利用の送信通話音量
大きくすることで通話相手に届く音声音量が大きくなります。

■IP電話イヤホン録音レベル

IP電話時の有線マイク、bluetoothマイクの送信通話音量
大きくすることで通話相手に届く音声音量が大きくなります。

■効果音レベル

通話開始時の効果音などの再生音量

■オーディオソース (IP電話)

IP電話時の音声録音モードを切り替えます。
相手に音声が伝わりにくい場合に、変更することで改善されることがあります。
音声認識: 音声をくっきり伝えますが周囲の騒音を拾いやすくなります。
音声通話: 周囲の騒音を抑えて伝えますが、環境によっては自分の声が小さくなる場合があります。
指定なし: システムの規定値です。音声認識モードと同等です。



3 オーディオ設定を設定したら「戻る」をタップします。
オーディオ設定が反映されます。

各種設定（SOSボタン設定）

- 1 設定画面にある、「SOSボタン設定」をタップします。



- 2 SOSボタン設定画面が表示されたら、SOSボタン押下時の設定をします。

- アイコンを表示する

SOSボタンを一度押し込むとアプリトップメニュー画面にSOSのアイコンが表示されます。
SOSアイコンをタップするか、もう一度SOSボタンを押し込むことでSOS状態は解除されます。

- アラームを再生する

SOSボタンを押し込んでSOS状態となっている間、アラーム音を再生します。SOS状態を解除するか鳴動時間経過するとアラームは停止します。

- 鳴動時間

アラーム音を鳴らし続ける時間を設定します。
継続を選択することで、SOS状態を解除するまでアラームを再生し続けることができます。



- 3 SOSボタン設定を設定したら「戻る」をタップします。
SOSボタン設定が反映されます。

各種設定（キーロック設定）

- 1 設定画面にある、「キーロック設定」をタップします。



- 2 キーロック設定画面が表示されたら、「#」キー長押し時の設定をします。

- キーロックしない

キーロック機能を利用しません。
標準動作として選択されています。

- 全てのキー

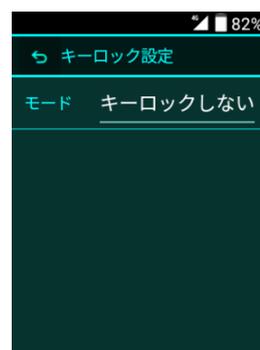
PTTキー押下による通話の発信を含め全てのキー操作を無効化します。

- PTTキー以外

PTTキー長押しによる通話の発信のみキー操作を許可します。

※いずれのモードを選択した場合でも、着信時通話中のPTT操作（発話）は有効となります。

※ボリュームキー操作、SOSボタンの長押しは常に有効となります。



- 3 キーロック設定を設定したら「戻る」をタップします。
キーロック設定が反映されます。

各種設定（アプリランチャー）

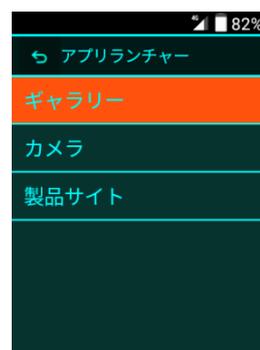
- 1 設定画面にある、「アプリランチャー」をタップします。

※音声サービスメンテナンスWebでランチャー設定が登録されている場合にのみ表示されます。



- 2 アプリランチャー画面が表示されたら、起動したいアプリケーションを選択します。

※起動したアプリケーションは戻るキーや、終話キーを押下することで終了しiMESH画面に戻ることができます。



各種設定（バージョン確認）

- 1 設定画面にある、「アプリについて」をタップします。



iMESHの情報画面が表示されます。



各種設定（バージョン確認）

その他

各種設定（端末設定）

- 1 設定画面にある、「端末設定」をタップします。



端末設定メニューが表示されます。

Androidの各設定メニューに移動することが出来ます。

Androidの設定メニュー表示中に、戻るキーを押すことでiMESH画面に戻ります。



アップデートする（本体）

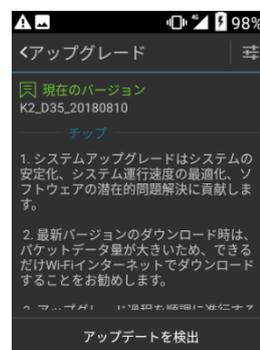
- 1 メインメニュー画面にある、アップグレードアイコンをタップします。



アップグレードアイコン

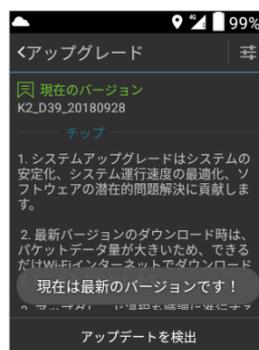


- 2 アップグレード画面が表示されたら、下部にある「アップデートを検出」をタップします。



- 3 既に最新バージョンの場合、「現在は最新のバージョンです！」とメッセージが表示されます。

最新でない場合は、ダウンロード画面に遷移します。「ダウンロード」をタップして、ダウンロードを開始します。



- 4 ダウンロードが完了したら、インストール画面に遷移します。

「今すぐインストール」または「後でインストール」をタップし、アップグレードを完了させます。



無線専用モードでご利用になる場合は、設定画面のアップデートメニューよりファームウェア更新をタップしてください。アップグレード画面が表示されます。

アップデートする (iMESH)

- 1 iMESH 起動時にアプリのアップデートが見つかった場合、インストールの案内が表示されます。内容を確認してインストールを行ってください。

※ 提供元不明のアプリのインストールを許可するには、メインメニュー画面から「設定」→「セキュリティ」を選択し、「提供元不明のアプリ」をONにします。



- 2 アップデートの途中でセキュリティのメッセージが表示された場合、「設定」をタップします。

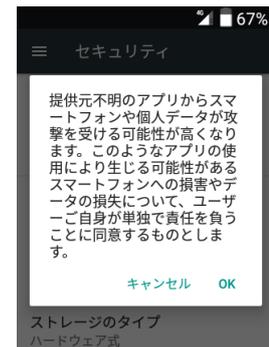


- 3 セキュリティ画面が表示されたら、画面中段の「提供元不明のアプリ」のスイッチをONに切り替えます。

端末の「戻る」キーを押してアップデートの画面に戻ります。



- 4 変更確認のメッセージが表示された場合、「OK」をタップします。



2~4の設定は端末で初回にアプリアップデートを行う際にのみ必要となる操作です。
2回目以降のアップデートの際にはメッセージは表示されません。

！ 自動アップデートについて

音声サービスメンテナンスWebで自動アップデート(本体/iMESH)が設定されている場合は、設定時間になるとカウントダウンを表示後、自動的にアップデートを開始します。カウントダウン表示中はアップデートをキャンセルすることが出来ます。



困ったときは

自分の声が伝わりにくい

マイクに口を近づけすぎると音質が悪くなることがあります。
マイクを指などでふさがないように気をつけてください。

相手の声が聞こえにくい

音量設定が小さくなっていないか、音量の設定を確認してください。
スピーカーを指などでふさがないように気をつけてください。

通話をしようとするが繋がらない

画面にメッセージが表示されている場合は内容を確認し、
それぞれ以下の対処を行ってください。

「通話中です。しばらくしてからかけ直してください。」

相手局が通話中の場合に表示されます。

しばらく待ってからかけ直してください。

「電源が入っていないか電波が届かないためつながりません。」

相手局が電源オフの状態か、電波の届かない場所にいる可能性があります。

しばらく待ってからかけ直してください。

「該当する無線局が存在しません。」

システム上、未登録の番号です。

相手局の番号をもう一度確かめて入力してください。

「電波状況が悪いため発信できませんでした。」

端末のアンテナレベルを確認し、電波状況の良い場所でかけ直してください。

「接続できませんでした。しばらくしてからかけ直してください。」

「現在、通話できません。しばらくしてからかけ直してください。」

ネットワーク異常の可能性があります。

しばらく待ってからかけ直してください。

困ったときは

通話を切断しようとするとうホーム画面に戻ってしまう

通話の切断には、戻るキーを使用します。
ホームキーを押すと、通話中であっても iMESH を閉じてしまいますので、ご注意ください。



戻るキー



ホームキー

「状態通知」が表示されない

「状態通知」は、モバロケサービスを利用しているお客様にのみ表示されます。
ご利用登録しているにも関わらず表示されていない場合は、お手数ですが、iMESH の再起動をお試しいただきますようお願い致します。



端末がフリーズした

全ての動作が完全にフリーズしてしまった場合は、
お手数ですが、電源キーを10秒以上長押しをしていただきますようお願い致します。端末が再起動します。

困ったときは

その他

用語集

用語	説明
無線局	IP無線端末
自局	自分のIP無線端末
指令局	無線局を分類する際に使用する区分。 指令局通話の際に通話対象となる。
局番	無線局の固有番号。 主に個別通話の呼び出しに利用する。
グループ	無線局を分類する際に使用する単位。 主にグループ通話に利用する。
所属グループ	自分のIP無線端末が所属するグループ。 所属するグループに対してグループ通話の呼び出しが行われた場合に通話に参加します。
メイングループ	自分の無線局が主に所属するグループ。 所属するメイングループに対してグループ通話の呼び出しが行われた場合に通話に参加します。 指令局通話を発信した場合に、所属するメイングループの指令局に対して呼び出しを行います。
チャンネル	グループ内の端末を、さらに分類する際に使用する単位。チャンネル通話に利用する。 無線局は所属するメイングループ内のチャンネルに所属することが出来ます。
無線専用モード	IP無線端末の利用モードの一つ。 IP無線プリの終了操作及び、ホーム画面表示や他アプリへの切り替えができません。 このモードはデフォルトで有効になっています。
個別通話	他の無線局を1対1の通話ができます。 局番を入力して無線局の呼び出しを行います。

用語集(2)

用語	説明
IP電話	携帯電話、固定電話とIP無線端末間で通話ができます。 IP電話機能を利用した通話は通常の電話と同様、全二重(常に音声の送信と受信ができる)通話となります。
グループ通話	グループに所属する全ての無線局と同時に通話ができます。 グループ番号を入力してグループの呼び出しを行います。
チャンネル通話	メイングループ内の同一チャンネル番号に登録している無線局と同時に通話ができます。 チャンネル番号を入力してチャンネルの呼び出しを行います。
マルチチャンネル通話	メイングループ以外のチャンネルに対してチャンネル通話を行うことができます。 グループ通話モードで呼び出したい「グループ番号#チャンネル番号」を入力してチャンネルの呼び出しを行います。
一斉通話	全ての無線局と一斉に通話できます。
指令局通話	メイングループ内の全ての指令局と同時に通話ができます。
周辺通話	発信元の無線局を中心として、既定の距離以内に存在する無線局と同時に通話ができます。
強制(割込み)通話	通話中の無線局を強制的に終話させ、通話に参加させます。
モニタリング	接続先の無線局に通知することなくIP無線端末の周囲の音声を再生します。

用語集(3)

用語	説明
チャット	IP無線端末で利用するテキストメッセージ送受信機能。 画像ファイル、動画ファイルの送受信が可能です。
モバロケ	動態管理システム。 ブラウザ上で無線局の位置情報を確認することができます。
モバロケチャット	モバロケで利用するテキストメッセージ送受信機能。 チャット機能を有効にすることでIP無線端末のチャットと連携することができます。 IP無線端末から受信した画像ファイルや動画ファイルは、モバロケの地図上にプロットされる。

- ・取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
- ・取扱説明書は製品をご購入いただいたお客様を読者として想定しています。ご購入されたお客様以外からの本製品に関するお問い合わせにはお答えできない場合があります。あらかじめご了承ください。